

祝 卒業

3月3日(火)に第79回卒業証書授与式が行われました。当日は雨模様で風も強いあいにくの天候となりましたが、在校生や保護者の皆様から温かい拍手が送られる中、卒業生が入場し、厳肅かつさわやかに式が挙行されました。202名の卒業生は、式の終わりに卒業記念合唱「3月9日」を披露し、学び舎を凛々しい姿で巣立っていきました。彼らの未来が希望に満ちた素晴らしいものになることを心からお祈りいたします。

式 辞

日ごとに暖かさが増し、穏やかな春の日差しと心地よい春風が、未来へ羽ばたこうとしている卒業生の背中をそっと押してくれているように感じます。

本日ここに「第79回卒業証書授与式」を挙行するにあたり、ご多用の中、PTA会長 荒井太郎様をはじめ、多数のご来賓並びに保護者の皆様より、卒業生への祝福と激励にお出いただきましたことに心より厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、3年前の4月はまだ新型コロナウイルス感染症が5類へ移行するひと月前でした。小学校後半から始まった数々の制限・制約から解放され、中学校へ入学する喜びと新しい生活への期待・不安を抱いて迎えた入学式から、あっという間に過ぎた3年間だったと感じておられることと思います。

今この同じ場所で、大きく成長した我が子を目の当たりにされ、お気持ちはいかがでしょうか。きっと、これまでのご苦労や感動が次々と思ひ起こされ、感慨深いものがあるのではと拝察いたします。私たち在校生・職員一同、あらためて心よりお祝い申し上げます。

先程、凛々しく堂々とした態度で卒業証書を受け取った202名の卒業生のみなさん、卒業おめでとう。今その逞しく成長した姿は、燦然と光り輝き、本当に頼もしく思えてなりません。2年後に創立80周年を迎える歴史と伝統を誇る、この新津第一中学校で過ごした3年間はどうか。

中学校入学後は、これまでできなかった様々な活動が当たり前になるようになり、それに伴って友達も増え、先輩・後輩、先生方との関わりも増えていきました。一人ではできないことも互いに助け合い、壁を乗り越えたことや休み時間に友達との何気ない会話で笑ったことなど、全てがみなさんの大きな財産です。特に3年生となったこの一年は、修学旅行や体育祭・合唱コンクールなど、クラスや連合の仲間と力を合わせ、時に感情をぶつけ合いながら心に残る思い出をたくさん積み重ね、絆を深めてきました。

それらが多くの人に感動を与え、一中の伝統を後輩に引き継いでくれたことに心から感謝しています。本当にありがとうございます。

一方、思うようにならないときや人間関係に悩み苦しんでいるとき、誰よりも優しく、時に厳しく、今日まで温かく支えてくださった家族に感謝することを忘れてはなりません。

さて、卒業にあたりみなさんに次の言葉を贈ります。「意思あるところに道は拓ける」これはアメリカ合衆国第16代大統領 エイブラム・リンカーンが残した言葉です。当時アメリカで普及していた奴隷制度を撤廃し、世の中を変えたいという思いを若いときから強くもっていました。そのために議員を目指しますが、何度も選挙に落ち続けます。しかし、思いを叶えるため諦めずに挑戦を続け、何年もかけてようやく当選することができました。

そして、当選後に目標であった奴隷解放を実現しました。この功績が評価され、在任期間はわずか4年間という短い期間でしたが、「最も偉大な大統領」と言われるようになりました。

卒業生のみなさん、今ここに9年間の義務教育を終え、一つの節目として新たな目標や決意を抱いていることと思います。みなさんには無限の可能性があり、この先には夢と輝く未来が待っています。

しかしながら、現代の社会はものすごい速さと勢いで激しく変化しているため、これからは夢や希望を叶えるためには、柔軟な対応力と同時に困難を乗り越える強い意志と行動力が求められます。

人は誰でも思い通りにいかないことや失敗が続くと、自分には無理だと諦めそうになりがちです。だからこそ「きっとできる」「いつかうまくいく」と自分の可能性を信じて、目標に向かい、努力し続けてほしいのです。

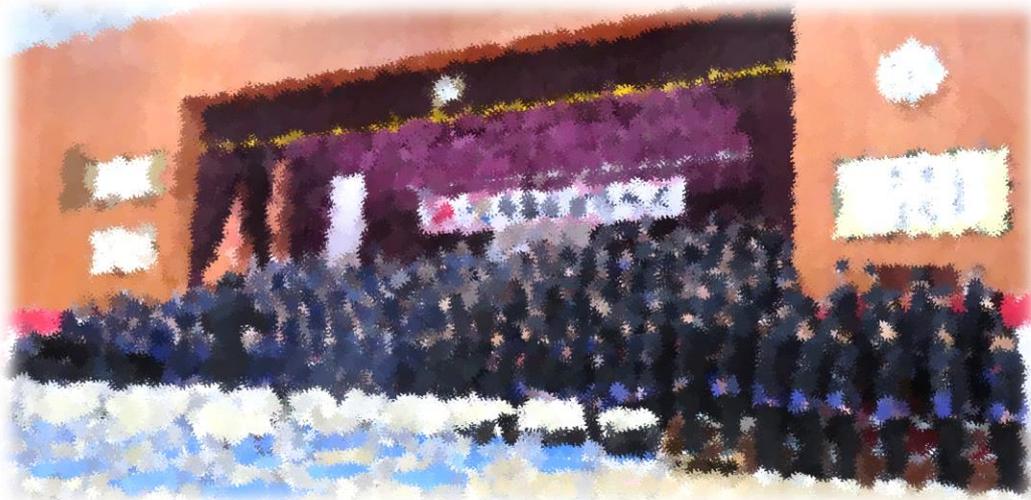
前へ踏み出すことをためらった時や困難にぶつかり心が折れそうな時には、「意思あるところに道は拓ける」と自分に言い聞かせてください。

卒業生一人一人が未来を切り拓き、自分の夢や希望を叶えてくれることを心から願い、式辞といたします。



令和8年3月3日

新潟市立新津第一中学校長 佐藤 孝一



1年間、ありがとうございました

本日で令和7年度の授業日が終了しました。今年度も、当校の教育活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

一年を通して、生徒たちは様々な場面で活躍を見せてくれました。夏休み前からリーダーを中心に準備を重ね、学年を超えた交流や団結が生まれた体育祭。クラスが一つになり、美しいハーモニーを奏でた合唱コンクール。その他にも、学年行事や日常生活を通じて、生徒ひとりひとりが心身共に成長した一年となりました。

来年度も、生徒たちが様々な人との関わりを通して自他の良さを見つけ、更に成長していくことができるよう、努めてまいります。